

『かんば』の題字について

行司式守伊三郎さんの書

小鉢京さんが橋渡し

『かんば』の題字を「こらん」になって、その見事な書体に感じ入られた方も多いと思います。

これこそ、正直正銘の勘亭流の書体です。東京大相撲の番付表に見られる、あの独特な書体なのです。書いて下さったのは、時津風部屋所属の行司さんで、式守伊三郎さんという人。

田口勝さんが名付親となった『かんば』という会報名については、ひらがなの三字であるため、これを強く印象づけるには、勘亭流の書体以外にないと人探しをしたのですが、独特の書体なので、大相撲関係者以外にはなかなか探せず、弱っていました。ところが、大相撲のことなら俺に任せてくれと名のり出られたのが、同じ会報班で活躍して下さっている小鉢京さんでした。小鉢さんはさっそく、福岡場所中に式守伊三郎さんとの会い、題字と色紙を手に帰ってこられました。小鉢さんと式守伊三郎さんの御好意に心から感謝すると共に東京大相撲の関取衆にもおなじみの河豚こと「かんば」のすこやかな成長のために、一層努力したいと思えます。皆さんの御協力を、お願い申し上げます。